

聴松軒

Choshouken

風炉のなごみ

【軸飾り】

【茶碗飾り】

【盆香合】

【初炭】

【濃茶】

【一二三】

【数茶】



風炉のなごみ



掛物 万里秋

【掛物】 「万里秋」 菊画要道老師賛
【花入】 宮島簞

花 「芙蓉」「秋明菊」「底紅」「祇園守り」「吾木瓜」「ホトトギス」

【香合】 角館桜樺細工菊文様

【釜】 刷目姥口

風炉 道安風炉

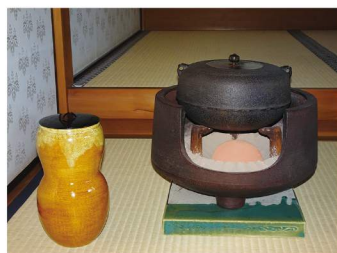
【水指】 瓢箪細 吉向作

【茶入】 黄瀬戸水滴

仕服 花兎金襴



香合 角館桜樺細工菊文様



水指 瓢箪細



茶入 黄瀬戸水滴



花入 宮島簞

【茶碗】 柿のへた

替 菊垣絵 京焼

安南写

【茶杓】 「菊日和」 宗興老師銘

【薄茶器】 柿の絵

蓋置 引切

建水 唐金 二エフゴ

【干菓子器】 簞

菓子 「栗蒸し羊羹」「栗粉餅」「栗名月」

「東雲」「紅葉焼」 二とらや製

干菓子 「五葉の枝」「京ふうせん」「越の雪」

濃茶 猶有斎好 「楽寿の昔」 二柳桜園

薄茶 而妙斎好 「清友の白」 二柳桜園



茶碗 菊垣絵



茶杓 菊日和



干菓子器 簞



茶碗 柿のへた

【中置】

かき上げ灰に仕上げ

(中置でなくてもかきあげ灰に仕立てる)

【軸飾り】

床天上底いため矢筈は不要

床壁ふすま壁にてたてかけず

あて紙の扱い

【茶碗飾り】

茶碗の中に帛紗茶入れをおさめて

飾る意味合い

【盆香合】

炭斗の置き様

棚無しの運びの盆香合、釜の位置

【濃茶】

水滴に仕服を着せて茶入れの口の向き

茶を入れる時、置き合わせの時、客拝見の時

【一二三】

天にある「月」地にある「花」中にある「無地の数字」

通常の点前に比べて

盆・折居・札の扱い

【数茶】

折居の扱い、折居の回す時期、札の扱い

札元の正客の折居の回すタイミング

「おもやい」の作法

【開炉の準備】

● 炉の灰の作り様

● 五徳、釜のすえ方

● 練香の作り方

● 口切葉茶の引き様



中置